

「イエス流」

シリーズ～さよならキリスト教～
2024/7/7

「さよならキリスト教」にしないために

- このまま行くと日本から「キリスト教」がなくなってしまう

- 2030年には日本の教会は半分になってしまう
という予測も

- 高齢化(信徒・教職)・後継者不足

- 日本のキリスト教会の失敗

- 日本人の心をつかまえ切れなかった

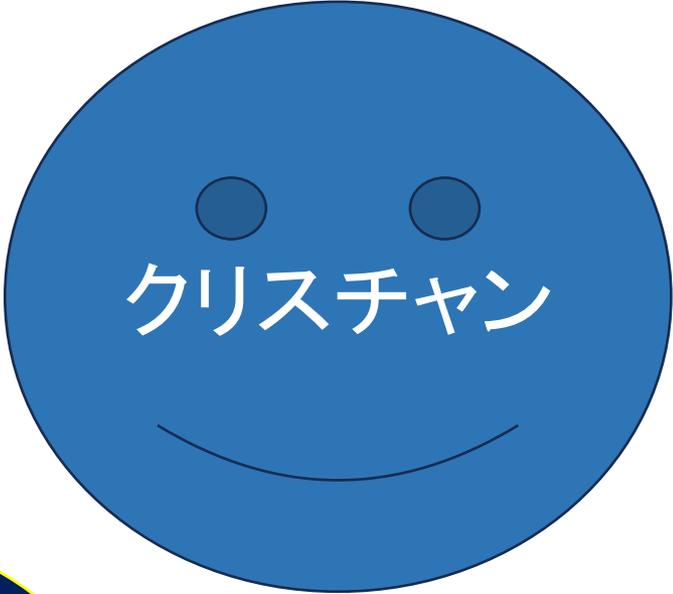
- 間違ったキリスト教のイメージを植え付けてしまった

- 「クリスチャン」も萎縮してしまっている

あなたは何者か？



キリスト教
信者

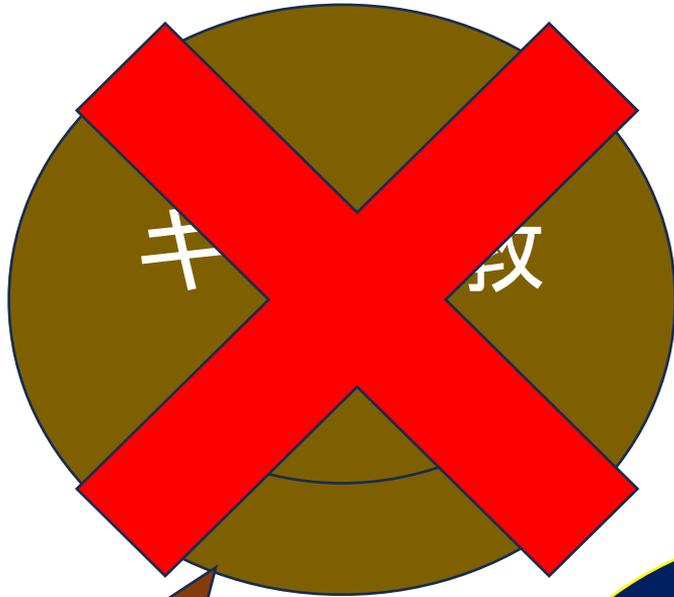


クリスチャン

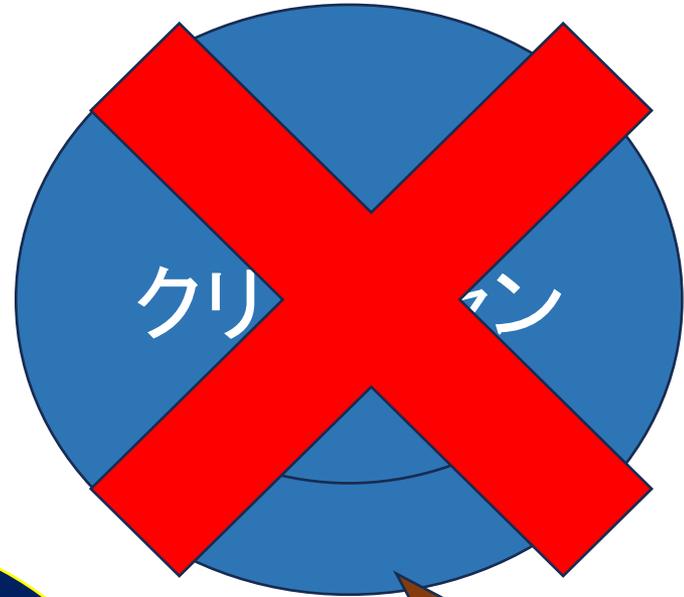


イエス様
の弟子

あなたは何者か？



信じている
だけで十分



歪められた
イメージ

イエス様
の弟子

イエス様は何と言われたか

• 弟子を作りなさい(なりなさい)

• 「だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。」(マタイ28:19)

• 「キリスト教」を作れとも、「クリスチャン」を作れとも言われなかった！

• イエス様を師(見本)としてそのようになろうと努力し続ける者こそ「弟子」である

• イエス様は弟子をそばに置いて育てられた

• 私たちも、人生をかけて師であるイエス様から学び、イエス様のようになろうとする

日本における師弟関係は「～道」

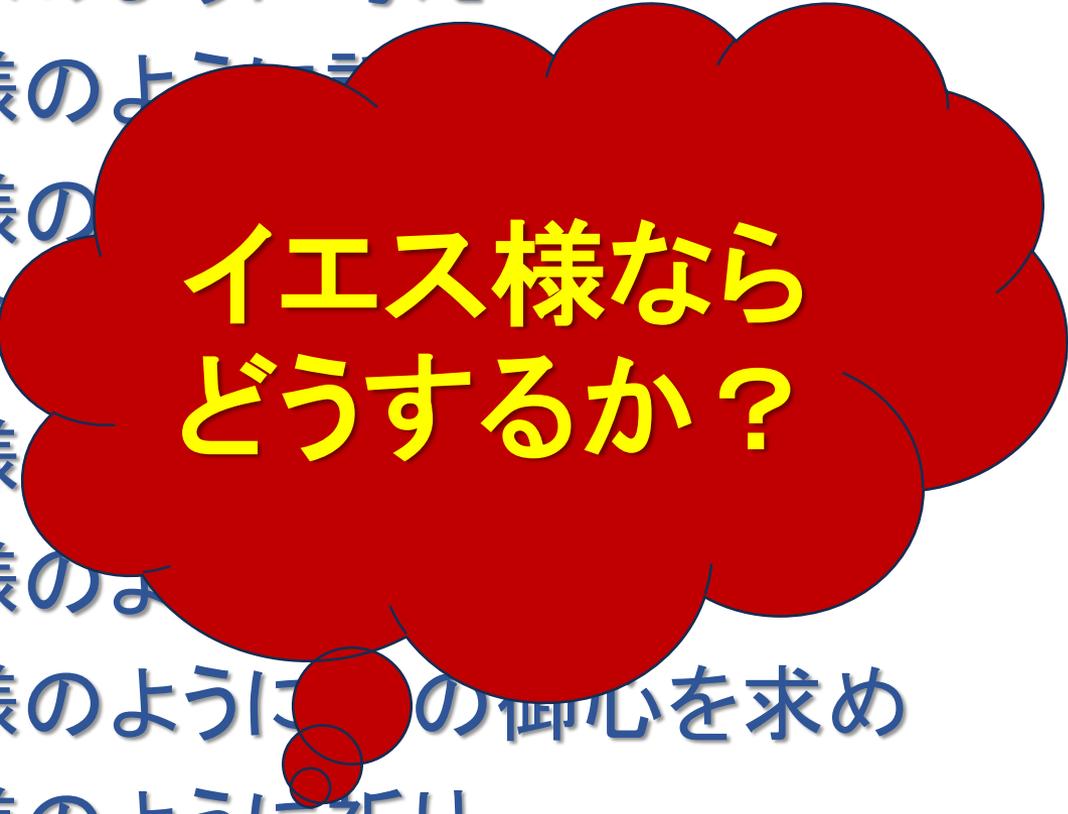
- この国で師弟関係が存在するのは
 - 茶道・華道・書道(文化系)
 - 柔道・剣道・弓道(武道／体育会系)
- 「～道」の意味すること
 - 単に技術や能力を高めるだけではなく、人格を磨くことを目的とする
 - 多くの「～道」には「流派」がある
- 私たちは「イエス道・イエス流」の弟子である
 - イエス様を手本にしてイエス様から学ぶ
 - そうすることで霊的・人格的に成長する

「イエス様のようにになる」とは

- イエス様のように考え
- イエス様のように話し
- イエス様のように聞き
- イエス様のような態度で接し
- イエス様のように行動し
- イエス様のように人と関わり
- イエス様のように父の御心を求め
- イエス様のように祈り
- イエス様のように…

「イエス様のようにになる」とは

- イエス様のように考え
- イエス様のように言葉
- イエス様の
- イエス様
- イエス様
- イエス様のように
- イエス様のように神の御心を求め
- イエス様のように祈り
- イエス様のように…



イエス様なら
どうするか？

そうするためには

- イエス様のことを知らなければならない
 - 初代教会の人々が福音書を残した理由
 - 最初の弟子たちが「イエス様はこう言われた」「イエス様はこうされた」と語った
- イエス様のイメージを刷新する
 - 豪快・明るく楽しい・裏表がない・余裕綽々・機転が利き賢い・愛の人・寛容・間違いには厳しい・子どもに優しい…
- もちろんみんな同じではない
 - 12弟子は違う個性のまま成長した

パウロのイエス流

• パウロは「キリストを着る」と表現した

- 「あなたがたは皆、信仰により、キリスト・イエスに結ばれて神の子なのです。洗礼を受けてキリストに結ばれたあなたがたは皆、キリストを着ているからです。」(ガラテヤ3:26-27)

• 「結ばれた」の元々の意味は「中にいる」

- ギリシャ語では“エン クリストー”(in Christ)つまり、キリストの中にいる(包まれている)という意味
- キリストの着ぐるみを着ているというイメージ
- 「キリストに結ばれて歩みなさい。」コロサイ2:6



イエス様の弟子になる

- まず間違った感覚を捨てる
 - 「キリスト教信者」×「クリスチャン」×
 - 資格でも肩書きでももちろん飾りでもない
- 目に見えない師匠について行くか
 - 見えないからこそ24時間共にいる(意識)
- 常に「まず」考える
 - 「イエス様ならどうするか?」「イエス様ならしないかもしれない」

「イエス流」に入門しよう!

師匠のお言葉

それから、弟子たちに言われた。
「わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。」

マタイ福音書16章24節